山肌に銃撃のこだま

ザイル切断に成功

谷川岳宙づり死体収容　絶壁下で数回はずむ

【群馬県】去月末谷川岳で人命救助のため出動した群馬県警ヘリ「はるかぜ」号は、二日ぶりに谷川岳の絶壁に向かった。この日は、ヘリ「はるかぜ」号のパイロット、ガンナー、ドクターの三人が、ロープ一本で宙づりになって、ザイルの切断で死亡した谷川岳宙づり死体収容の模様を中心に、この日の谷川岳の様子をルポする。

一、二三八発で命中

この日谷川岳は朝から小雨がパラつき、紫雲たなびいた谷川岳の絶壁は、霧に包まれていた。昨日の捜索で、ロープ一本で宙づりになって死亡した谷川岳の遭難者の遺体を収容するため、ヘリ「はるかぜ」号は、前